

しなやかにともにいきる



会頭 塚本 能交

株式会社ワコールホールディングス
代表取締役会長

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

昨年から続く新型コロナウイルスの感染拡大は、京都経済に甚大な被害を与えました。感染収束の見通しが立たない中、まずは感染防止策を徹底し、同時に社会経済活動をしっかりと動かしていくことが重要となります。企業経営においては、感染リスクを抑えながら新しい変化やニーズに 대응して、より積極的にビジネスを展開していくためのチャレンジが求められる一年になります。

歴史を振り返れば、京都企業はこれまでも幾多の危機を乗り越えてきました。その背景にあるのは、多様な分野で活躍する企業が、お互いの個性を尊重しながら高め合うことで生き抜いていこうとする「しな

やかさ”であり、それが京都の力として今も根付いているものと思います。時代の変化に対応した魅力ある京都をつくるためにも会員の皆様が相互の連携をさらに深め、底力を発揮していくことが重要であると考えております。

「VIDKYOTO」の基本方針のもと、「しなやかにともにいきる」をテーマに、京都の強みを活かし、会員の皆様とともに未来の京都を切り拓くよう、全力で経済の活性化に取り組んでまいります。コロナショックの影響を受けた企業に対する事業継続の支援に加えて、飲食店を応援する「ちよこつと幸せキャンペーン」や、新たな生活様式に対応する商品・サービスを発信する「京商支縁サイト」などを展開し、新たな需要の喚起や販路の開拓をサポート

しています。また、オンラインを活用した企業の人材獲得やテレワークの実施に向けた支援など、会員の皆様が新しい社会に適応していくための支援にも積極的に取り組んでおります。アフターコロナを見据えて、会員の皆様の新しいチャレンジを、これからも力強く応援してまいります。

本年の干支は「辛丑^{かのうし}」。「辛」は辛く大変な出来事乗り越えて全く異なるステージへ移行する状態を指し、「丑」は協力して結び付きが強くなることを意味しています。京都の底力を結集させることでコロナショックを乗り越え、新たな成長ステージへの道を切り開くような明るい一年になることを祈念申し上げます。新年のごあいさついたします。

変化の激流を京都の知恵と機敏さで乗り越えよう



副会長
堀場 厚

株式会社堀場製作所
代表取締役会長兼
グループCEO

謹んで新春のお慶びを申し上げます。
 昨年は新型コロナウイルス感染拡大により京都の経済も大きな影響を受けましたが、コロナ禍だけではなく、地政学的係争や気候変動、貿易問題などの様々な要因で世界には今、目まぐるしい変化の波が押し寄せています。この激流に対応するには、目前の変化に機敏に対応する力と、先行きを見通す中長期的な視点のいずれもが必要です。このような時代には知識だけではなく、真の意味で知恵と機敏さを同時に持つ人材が求められるのではないのでしょうか。

幸い、京都には、歴史と文化に裏打ちされた総合力を潜在的に持つ企業とそこで活躍する人材が集まっています。この力を活かして知恵を発揮し、この変化の時代をリードしていきたいものです。
 本年も京都商工会議所を中心に京都力を発揮し、力を合わせて困難な時代を乗り越えていきたいと思います。皆様のご健勝とご活躍を祈念いたします。

知恵の総和で危機の克服を



副会長
村田 恒夫

株式会社村田製作所
代表取締役会長

謹んで新春のお慶びを申し上げます。
 昨年はコロナ禍で世の中が大きく変化した一年でした。特にリモートワークに代表されるICTを活用した働き方改革の流れは、デジタル・トランスフォーメーション(DX)の動きを加速させ、数年分の進歩を先取りしたような印象がありました。

今年も当面はウィズコロナの状況下、次々と新しい技術やインフラなどが出現する一方で、新たな社会問題や経営課題に直面することになりそうです。安全で有効なワークチン普及による経済の正常化に期待しながら、アフターコロナの世界を想定した新しい事業の展開を考えておくことも必要です。
 京都商工会議所と会員企業の皆様の知恵の総和によって、未曾有の困難であるコロナ禍を克服し、京都の底力を内外に示すことのできる一年となることを願い、新年のご挨拶とさせていただきます。

変化をチャンスと捉える



副会長
山口 悟郎

京セラ株式会社
代表取締役会長

謹んで新春のお慶びを申し上げます。
 昨年は新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、京都においても、観光のみならず、多くの産業分野で甚大な影響を受けました。一方で、人々の働き方や生活様式が一変した今だからこそ、新たな発想のもとに創造的な事業活動を展開していくチャンスの時でもあります。
 従来より、京都には他社にまねのできない独自の技術や独創的な知恵によって市場を開拓してきた企業が数多く存在してきました。そうした既存の技術を応用展開したり、新たな組み合わせを構想することで、世の中のニーズにもつと貢献できるイノベーションを京都から発信していくことが求められています。

悠久の歴史を紡いできた京都には、時代に適応するとともに、自らの伝統を生かしていく知恵が備わっています。そのように時代に合わせて自らを変革し、新たな価値を創造していく転機の年となるよう、微力ながら副会長として京都経済の発展に尽力してまいります。

パラダイムシフトの大波に乗って



副会長
土井 伸宏

株式会社京都銀行
代表取締役頭取

謹んで新春のお慶びを申し上げます。
 コロナ禍の傷が十分癒えぬまま、多くの課題を持ち越して新年を迎えました。なかでも人間同士の接触制限は、社会前提を根本否定する難題です。パラダイムシフトの大波を、いまほどリアリティをもって、世界が同時に共有・体感したことは無かったと思います。

この大波は、従来モデルを瓦解させる一方で、一気に普及したりリモートワークのように、企業の変革を後押しする側面もあります。それだけにいま必要なのは、大波に乗って自社の変革を推し進め、新しい社会にいち早く適応することにほかなりません。
 こうした認識のもと副会長として尽力してまいりますので、皆様方の一層のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

2020年の経験を活かして!



副会長
齋藤 茂

株式会社トーセ
代表取締役会長兼
CEO

あけましておめでとございます。
昨年の流行語大賞は「3密」でしたが、一方で人と人との繋がりが最も大切であると認識された年でもありました。弊社でも多くの社員がテレワークを経験しましたが、全てがテレワークやテレビ会議になれば、ビジネスは成り立ちません。現状、急激にシステムが進化しているもの、完全ではなく、利用者自身が上手く使いこなせていないと感じています。

専門家によれば、弱毒ゆえに世界中に広がった新型コロナウイルスも2021年には収束に向かうとの事ですが、数十年の間には何度か新しい感染症リスクが訪れます。我々は今回の経験を次に活かすマニュアルを業種毎に作っておかなければなりません。
ラストチャンスのおリンピックもコロナに打ち勝って開催してほしいと願っています。
本年も微力ながら、副会長として尽力してまいります。ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

社会の変革期に、新たな価値創造を



副会長
立石 文雄
オムロン株式会社
取締役会長

謹んで新春のお慶びを申し上げます。
昨年は、新型コロナウイルス感染症による直接的な健康、経済被害に加え、社会の分断が進む一年となりました。一方、これまでなかなか進むことがなかったテレワークをはじめデジタル化（DX）の波が急速に進展するなど、コロナによって社会は大きく変化してきました。この状況下で持続的成長を成し遂げていくためには、我々自身も変革を加速しなければなりません。

この時代の変化をチャンスとして捉え、アフターコロナの社会はどのように変化し、どのような姿になるのか、その中で京都企業はどんな価値を創造しているのか、そのために必要な事業・技術は何なのか。今こそ、京都企業同士がパートナーを組み、その力を結集し、京都企業の底力をみせようではありませんか。
本年もどうぞよろしくお願い致します。

「光」を磨きあげ、得意なことを迅速に



副会長
田中 誠二

株式会社キャリアエール
インターナショナル
代表取締役社長

謹んで新春のお慶びを申し上げます。
昨年は、新型コロナウイルス感染症の猛威により、働き方、生活スタイル、そして、価値観が変わる未曾有の事態となり、今もその只中にあります。特に、京都はインバウンドを含めて数多くの観光客で賑わっていました。コロナ禍の拡大による、観光事業者をはじめ、関連産業や文化活動への影響は甚大で、再生への道を柔軟且つ強気に踏み出すことが必要と考えます。

そのためには感染防止対策を徹底しつつ、可能な限り京都観光を含めた社会経済活動をまわしながら、文化の振興を下支えし、京都の都市格向上に繋げることが肝要です。人との対面交流が困難だからこそ自身の「光」を磨きあげ、ICTを活用し異なる個性や能力を持つ多様な個人や主体と連携し、イノベーションを巻き起こす。そして、得意なことを迅速にやることで、危機を乗り越え未来を切り開くことが重要と感じています。
本年はウィズコロナ社会への適応を見据えて、京都観光を含め地域経済の活性化と中小企業並びに小規模事業者の発展・振興に、微力ながら尽力してまいります。